

# 表現することで読みを深める 一心に残った場面を絵と文章で表現する

- 1 科目名 国語総合（古文）
- 2 単元名 歌物語
- 3 教材名 「伊勢物語」芥川
- 4 単元の内容

単元の目標  
と評価規準  
・評価方法

## ①単元の目標

- ア 物語の内容に興味をもち、自分なりに解釈して表現しようとする。  
(関心・意欲・態度)
- イ 文章に書かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。  
(読む能力)
- ウ 文や文章の組み立て、用法などを理解する。  
(知識・理解)

## ②単元の目標設定の理由

- ・古文の物語にも現代と私たちと同じ感情をもつ人々が描かれているが、生徒は、文法や語彙になじみがないため、そのことに気付かないまま「古文は難しい」というイメージをもってしまう傾向がある。語彙数の少ない生徒はさらにその傾向が強い。
- ・生徒に「古文をやる。」という、「やりたくない。」といった反応が返ってくる。現代では使わない文法や語彙に気を付けて丁寧に読んでいけば、十分に理解して楽しめることに気付かせたいと考えた。
- ・現代語と異なる古語や文法に気を付けて、丁寧に本文を読んでいく姿勢を身に付けたい。丁寧に読んでいけば理解できること、理解できればおもしろいといった経験が教材を丁寧に読む姿勢へとつながり、さらに必要な知識を身に付けたいという意欲につながるようなスパイラル効果を期待した。

## ③中心となる学習活動

- ・難しいと感じていた古文が自分自身で理解できたという実感は、学ぶ喜びの体験である。教材本文の内容を理解するためには、文法や古語などの基本的な知識事項を学んで適切な現代語訳を行うことが欠かせない。さらに現代語訳を参照して「一心に残った場面」を考えることで、印象的な場面や登場人物の心情を自分なりに解釈して物語全体への理解を深める効果を期待した。
- ・「一心に残った場面」を考えて表現することは、小説や物語教材の読解で小・中学校からなじんだ活動であり、古文への抵抗感を減らし理解を助けるのに効果的と考えた。文章だけでなく絵やイラストでの表現も課題とし、楽しく活動できる要素を取り入れた。
- ・本活動では内容の理解が部分に陥ってしまう、あるいは、物語の主旨とは異なる場面への興味で終わってしまう可能性がある。そこで、歌物語の中心となる和歌に詠み込まれた登場人物の心情について、話し合いを通して考える活動を取り入れ、生徒の関心が物語の些末な部分に偏らないよう配慮した。

## ④言語活動の工夫

- ・文章を絵やイラストで表現してイメージを明確にする、絵やイラストで表現されたイメージを文章でとらえ直すといった活動は、語彙力が少ない生徒が文章で表現された物語のストーリーや登場人物の心情を理解する援助となる。アニメに慣れ親しんだ生徒にとって、親しみやすい活動であろう。「一心に残った場面」を絵やイラストで表現して説明することで、ストーリーの楽しさや登場人物の心情などに生徒自身が気付く可能性が高まると考えた。
- ・「絵やイラスト」を課題としたことで生徒同士の交流が自然に芽生え、お互いの絵を褒めたり笑ったりしながら楽しく活動に取り組む姿が見られた。
- ・絵やイラストの得意・不得意が生徒の意欲に影響を与える可能性がある。そこで、活動の始めに評価規準を示し、絵やイラストの巧拙は評価に関係がないことを明示した。
- ・様々な文章に書かれている内容を絵やイラストなど別の表現方法でイメージ化してとらえ直したり、逆に絵やイラストで表現されたイメージを文章でとらえ直したりすることは、生徒の限られた語彙力を補う有効な手段であると考えた。こうしたスキルは多様な形態の文章の理解を助けると推察する。

⑤評価

	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応
関心・意欲・態度	① ストーリーや登場人物の心情に興味をもち、自分なりに解釈して読もうとしている。 ② 本文の内容を踏まえた場面を選び、説明しようとしている。	点検（ワークシートの提出） 観察（机間指導）	・本文の現代語訳が適切に理解できているかどうかを確認し、できていない部分は援助する。
読む能力	① 本文のストーリーを適切に理解している。 ② 心に残った場面を表現することを通して、物語への理解が深まっている。	点検（ノート・ワークシート） 観察（机間指導）	・ストーリー展開や登場人物の心情など、現代語訳をしながら確認する。 ・板書をしっかり記録するよう助言する。 ・ワークシートに取り組む途中の段階で回し読みの時間を設定し、他の生徒の表現を参考にするよう助言する。
知識・理解	① 文法や古語の意味を踏まえた現代語訳をしている。 ② 本文の時代特有の慣習や考え方に気付いている。	点検（ノート・ワークシート）	・板書をしっかり記録するよう助言する。 ・教科書の注釈を読むよう助言する。

成果と課題

- ・ほとんどの生徒が、意欲的に活動に取り組んだ。低～中位層の学力の生徒も意欲的に活動しており、他の生徒の作品への関心も高かった。「女が鬼に食べられる場面」を取り上げた生徒も、女を失った男の心情を踏まえた説明文があり、本文の主旨とは関係が薄い表現はなかった。「通い婚」や男女の身分差といった貴族の慣習や物語の背景に興味をもつ生徒も多かった。
- ・本教材に4時間を割いたが、内容を精選して時間を短縮することも必要である。

アドバイス  
及び  
留意点

- ① 絵やイラストの完成度ではなく、その説明がストーリーを踏まえて適切に表現できているかを評価することに留意したい。
- ② 取組が遅れがちな生徒の支援として、ワークシートの回し読みは効果が高い。
- ③ 高校での古文・漢文の導入段階で活用できる。登場人物の心情や場面の展開が明確な物語が適している。

小中学校との  
系統性

- ①（中学・1年・C読むこと）  
ウ 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。
- ②（中学・2年・ア伝統的な言語文化に関する事項）
- ⑦ 古典に現れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像すること。

5 単元の学習概要

時間	各時間の目標	主な学習活動の流れと指導上の留意点	評価規準 ↓ 評価方法	状況Cの生徒への対応 ↓ 次時に注意すること
1	○音読を通して歌物語に慣れ親しむとともに、学習の準備を整える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文を音読し、現代語訳が書き留められるよう、本文をノートに書き写す。【Cア】</li> <li>文法や古語の意味に注意して現代語に直す。【Cイ】 【言ア(イ)】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の遅れが出ないように配慮する。</li> <li>文法や古語の意味など、知識事項を確認する。</li> </ul>	<p>指示された作業にしっかり取り組んでいる。【関】</p> <p>古語のきまりや古語の意味を理解している。【知】</p> <p>↓</p> <p>観察（取組の様子） 点検（ノート）</p>	<p>分からないところは、後回しにしてよいと助言する。</p> <p>↓</p> <p>現代語訳をしっかりと記録するよう予告する。</p>
2	○現代語訳を確認し、ストーリーに対する具体的なイメージを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>文法や古語の意味を確認しながら、現代語訳する。【Cイ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の遅れが出ないように配慮する。</li> </ul>	<p>ノートに現代語訳が記録できている。【関】</p> <p>↓</p> <p>観察（発言の様子） 点検（ノート）</p>	<p>教科書の語注や、ノートを見直すよう助言する。</p> <p>↓</p> <p>ノートを点検し、現代語訳が記録されていることを確認する。</p>
3	○「白玉か」の和歌に込められた男の心情を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>直接体験の助動詞の「き」、反実仮想の「まし」の働きを踏まえて、和歌を解釈する。【言ア(イ)】</li> <li>和歌に込められた男の心情を話し合う。【Aウ】</li> <li>和歌に込められた男の心情を自分なりにまとめてノートに書く。【Cウ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和歌の解釈に留意させる。</li> </ul>	<p>和歌の解釈を踏まえた男の心情を理解している。【読】</p> <p>↓</p> <p>観察（話し合いの様子） 点検（ノート）</p>	<p>和歌の解釈が理解できているかどうかを確認する。</p> <p>↓</p> <p>男の心情を自分なりに理解できているかを確認する。</p>
4 (本時)	○心に残った場面を表現し、ストーリー展開のおもしろさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>心に残った場面を絵やイラストで表現して「どのような場面か」「その場面が心に残った理由」「物語全体の感想」をワークシートに記入する。【Bウ】</li> </ul> <p>*留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価規準を伝え、どんなことを意識してワークシートを作成するのかを明確にしておく。</li> <li>生徒の状況を観察しながら、途中でワークシートの回し読みを行い、他の生徒のワークシートを参考にできるようにする。</li> <li>人物は簡易なイラストでもよいことを伝える。</li> </ul>	<p>物語のストーリーや登場人物の心情からずれることなく、心に残った場面を表現している。【読】</p> <p>↓</p> <p>観察（取組の様子） 点検（ワークシート）</p>	<p>ワークシートの回し読みを行い、他の生徒の表現を参考にしよう助言する。</p>

6 第4時の学習指導案

本時の位置	4時間目（全4時間）		
本時の学習目標	<p>ア 本文のストーリーや登場人物の心情を踏まえて心に残る場面を表現する活動を通して、登場人物の行動や心情について自分なりに理解を深める。（読む能力）</p> <p>イ 表現活動やワークシートの回し読みなどに意欲的に取り組み、理解を深めようとする。（関心・意欲・態度）</p>		
事前の準備	<p>① ワークシートの作成</p> <p>② 本文の現代語訳、和歌の解釈など本文の適切な理解</p>		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	<input type="checkbox"/> 本時の課題の確認 <input type="checkbox"/> 本文の音読、ストーリー・和歌の解釈の確認	<p>① 本時の課題を確認する。</p> <p>② 本文を全員で音読後、ノートで物語の概要を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを配布し、ワークシートの評価規準を説明する。</li> <li>一人一人が取り組んでいることを机間指導により確認する。</li> </ul>
展開 1 15分	<input type="checkbox"/> ワークシート	③ ワークシートに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の取組状況を机間指導により把握する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>目標 イ に対する評価規準と評価方法</b></p> <p>[規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書やノートを参考に、課題に意欲的に取り組んでいるか。</li> </ul> <p>[方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察（机間指導）</li> </ul> <p>[状況Cの生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対話を通して何につまずいているのかを把握し、個に応じた助言を行う。</li> </ul> </div>
展開 2 10分	<input type="checkbox"/> 回し読み	④ ワークシートの回し読みをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>よいと思う表現、なるほどと思う表現は自分の作品に取り入れるように指示をする。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>目標 イ に対する評価規準と評価方法</b></p> <p>[規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の生徒のワークシートを一生懸命読んでいるか。</li> </ul> <p>[方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察</li> </ul> <p>[状況Cの生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導をしながら他の生徒の作品でよいと思う表現をメモしておくよう助言する。</li> </ul> </div>
展開 3 15分	<input type="checkbox"/> ワークシートの完成	⑤ ワークシートを完成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の取組状況を机間指導により把握する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>目標 ア に対する評価規準と評価方法</b></p> <p>[規準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文の主旨を踏まえた場面が絵・イラストと文章で分かりやすく表現されているか。</li> <li>その場面が心に残った理由、物語全体の感想が適切に述べられているか。</li> </ul> </div>

			<p>[方法]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>点検・評価（ワークシート）</li> </ul> <p>[状況Cの生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文とずれている部分を指摘し、本文を踏まえた表現にするよう助言する。</li> </ul>
まとめ 5分	□ワークシートの提出・自己評価	⑥ ワークシートを提出し、単元全体の取組を自己評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートが未完成の生徒は課題とし、次の授業までに提出するように指示する。</li> </ul>